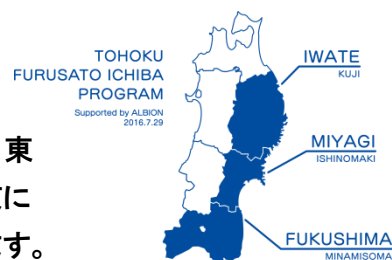


# 今年も東北三県の名産品を販売する 「東北ふるさと市場プログラム」を実施します

>>>2016. 7. 8



株式会社アルビオン(東京・中央区、小林 章一 代表取締役社長)は、東日本大震災支援の一環として、福島・宮城・岩手の高校生15名を東京に招待し、東京丸の内にて東北3県の名産品を高校生が自ら販売いたします。

「東北ふるさと市場プログラム」は、東日本大震災支援の一環として、福島・宮城・岩手の高校生15名を対象に、当社社員が販売までに必要なノウハウを伝授し、東京丸の内にて東北3県の名産品を高校生が自ら販売するプログラムで、2014年に福島の高中生を対象に実施した「福島ふるさと市場プログラム」に続いて2回目です。

名産品は、高校生たちが地元で慣れ親しんだおやつや、復興に向けた商品など、その土地や復興へのストーリーがあるものをご紹介し、加えて被災地域の現状や取り組みを伝えるチラシも配布します。

## 【目的】

参加した高校生が「ふるさと」をもっと好きになり地元で就労することへの意欲を高めるとともに、販売までの流れを学び将来に生かしていただくことなどを目的としています。

## 【特徴】

「アルビオンのモノづくり・販売」のノウハウを持った社員が講師となり、マーケティング、宣伝・PR、陳列、接客、仕入れなど、販売に必要なスキルを学ぶサポートをします。

## 【販売日程・場所】

■ 日時: 2016年7月29日(金) 11:30~19:30

■ 場所: 丸の内 行幸地下通路(行幸地下ギャラリー)

行幸マルシェ×青空市場内

<https://goo.gl/maps/mYD9pTsgX292>



前回(「福島ふるさと市場」)実施時の様子



商品には生徒てづくりのPOPを添付します

